

1 2024 年度 of 取組結果及び評価と 2025 年度の主な取組

2024 年度の取組結果及び評価	2025 年度の主な取組（重点事項）
基本方針 1 県内の中核機関としての役割・機能の発揮 ・県内のがん診療連携拠点病院の院内がん登録情報などから得られる、がん医療評価結果を取りまとめた文書の更新版発行に加え、生存率等に関する情報の取りまとめ文書の新規発行を達成し、各病院にフィードバックした。(1-6) ・重点プロジェクトを着実に推進した結果、外部評価において「研究機関としての持続的な成長と国際的な競争力を維持するためにも、プロジェクトの継続は必須」等の高評価を得た。(1-1) ・研究所に異分野融合領域の連携分野長・ユニット長を計 2 名（情報系、化学合成系）、名古屋大学から招聘するため選考を進め、分野設置に関してスクラップアンドビルドによる研究組織再編案を検討した。(1-5)	・県内のがん診療連携拠点病院のがん医療評価結果の情報を更新するとともに、愛知県がん診療連携協議会・愛知県がん情報のページで公開可能な範囲に関して国の方針に従い検討する。(1-6) ・外部評価結果を参考に、重点プロジェクトの課題や、バイオバンクの運営や利活用のあり方を見直し、さらに発展させる。(1-1) ・異分野融合領域を核に、病院や高度がん研究アライアンスを形成している名古屋大学などの他機関・企業との共同研究を活性化させ、イノベーションを創出する研究を展開する。(1-5)
基本方針 2 高度で良質な医療の提供とエビデンスの発出 ・重点プロジェクト実施や全ゲノム解析研究への参画で得られた試料・情報を用いた、外部研究機関や企業との共同研究が進み、研究成果の発出や研究費獲得につながった。(2-3) ・バイオバンクの資料・試料のセンター内部での利活用例が増加し、成果の発出にも至った。外部からの直接の利活用には至っていない（外部機関との共同研究におけるセンター内からの利用は 1 件あり）ものの、利用希望者からの相談を多数受けた。(2-1、2-2) ・これらの取組みにより、公的研究費及び企業との共同研究費については、大型の研究費の獲得を実現し、獲得額が目標を上回った。また、論文や学会発表による成果発出においても目標を達成できた。	・継続的に、バイオバンクの利活用、重点プロジェクトの実施、全ゲノム解析研究への参画で得られたデータを用いた共同研究を進め、さらなる大型研究費獲得につなげる。(2-1、2-3)
基本方針 3 県内の医療や研究の中心となる人材の育成 ・若手研究者の受け入れについては、分野長不在の分野があるため目標を達成できていないが、リサーチレジデント、連携大学院生、任意研修生等の受け入れを継続した。(3-2) ・宿泊費が高騰する中で、若手研究者のキャリア形成支援のために、教育機会の提供、民間財団研究費応募支援、国際学会発表の機会確保のための旅費使用の仕組みづくりを行い、成果発出や共同研究につなげた。(3-1) ・テキサス大学MDアンダーソンがんセンターとの共同研究を 3 件開始した。(3-5) ・ゲノム疫学研究の国内拠点としての試料・情報の収集整備、全ゲノム解析研究への参加による試料・情報収集等の大型多施設共同研究につながる研究環境整備を進めた。(3-5)	・継続して、がん予防研究、ゲノム疫学研究拠点整備を行い、テキサス大学 MD アンダーソンがんセンターとの共同研究等を通じて橋渡し研究を推進するとともに、若手研究者の受け入れと育成を図る。(3-5)
基本方針 4 取組の見える化 ・ホームページ、SNS、公式 YouTube チャンネルを用いた情報発信を継続した。(4-1) ・そのほか、高校生実習に加え、本年度の研究所担当公開講座も中高生向けに研究の魅力を伝えるプログラムとしたことにより、幅広い層に向けて研究所やがん研究に関する情報提供を行うことができた。(4-2)	・継続して、ホームページ、SNS、公式 YouTube チャンネルを用いた情報発信、高校生実習の継続、病院と協力した公開講座の企画充実を図る。(4-1、4-2)
基本方針 5 持続可能な安定した経営基盤の確立 ・間接経費の効率的運用による実験動物施設の改良、修繕や共通機器の整備、大規模データの取り込みのための研究所内の高速 LAN 整備を行うとともに、これらの管理体制を強化することで、研究所のソフト・ハードインフラの充実を図った。(5-2、5-3) ・外部スーパーコンピュータや名古屋大学などの外部機関の分析機器の利用、機器の利用促進のための技術講習会開催等の、効率的な研究力向上のための取り組みを継続したことにより、研究機能の強化が図られた。(5-1)	・継続して、間接経費の効率的運用によりソフト・ハードインフラ整備を進め研究環境の維持・向上を行うとともに、異分野融合領域を核に、研究所、病院で広くイノベーションを創出する新規研究領域の共同研究を推進する。(5-1、5-2、5-3)

※かっこ内の番号（例 1-1）は、参考資料「課題に対する具体的な取組（計画・結果・予定）等一覧表」において該当する項目番号を示す。